



第4回 DX セミナー 開催案内



アフターコロナや人口減少が叫ばれる中で10年後、50年後の未来を描くために、自治体や企業、団体が持続するために必要なことを学んではみませんか？

西会津町 CDO としてデジタル技術を活用した会津地域全体の活性化のために尽力されている講師が、各地の事例のほかデジタル通貨について紹介いたします。

日時：12月14日(水)14:00～16:00

会場：ビッグパレットふくしま4階

対象：高齢化や地域づくりに興味のある方、自治体、団体

参加費：無料 定員：50名

講師：西会津町最高デジタル責任者 藤井 靖史

お申込：12/9(金)17時までに当協議会 HP または QR コードから

令和4年度
第4回 DX セミナー
楽しい過疎にむけて、
そのDXはいかがですか？

参加費
無料

日時 12月14日(水)14時～16時
会場 ビッグパレットふくしま 4F
対象 高齢化や地域づくりに興味のある方、
自治体、企業、団体
定員 50名
講師 西会津町最高デジタル責任者 藤井 靖史 様

アフターコロナや人口減少が叫ばれる中で10年後、50年後の未来を描くために、自治体や企業、団体が持続するために必要なこととは？
西会津町 CDO としてデジタル技術を活用した会津地域全体の活性化に向けて尽力されている講師が、将来にわたる活動について各地のDX事例事例を交えてご紹介いたします。お気軽にご参加下さい。

ものづくりインキュベーションセンター入居者審査委員会 開催報告

11月8日(火)にインキュベーションセンター会議室において、入居者審査委員会を実施しました。入居延長2社、新規入居1社について、各企業様が事業内容を発表した後に審査員との質疑応答を実施しました。

厳正なる審査の結果、下記のとおり承認されました。

延長

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
7	株式会社ハンドレッド 代表取締役 林 英一	実験動物用福祉配慮型器具の開発・製造	令和4年12月1日～令和5年11月30日
10	リンクエフ 田村 慎太郎	地中熱利用システム事業及びキャリア ケースクリーナーの開発	令和5年2月1日～令和6年1月31日

入居者を募集します



ものづくり企業の皆様の新技術や新製品開発の拠点や創業者の拠点として活動できる起業支援室の入居者を募集します。

募集部屋：No.9(事務室タイプ)【15.0㎡】 月額使用料：23,700円

募集期間：12/1(木)～24(金)

※入居に際しては、事前に審査があります。詳しくは、お申し込み前にご相談ください。



ボードメンバー会議報告 (ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会)

10月25日に、エフコムドリームラボを会場として、第2回ボードメンバー会議を開催いたしました。

始めに廃校となった旧上伊豆島小を利活用したドリームラボの視察の後、これからの県中地域の住民や中小企業のデジタル化支援に向けてどうすべきかなどについて、意見交換を行いました。



Connect2022 in Koriyama with UDC(ハッカソン)開催報告

賞名	チーム名	作品及び概要
郡山市長賞	young FIC	鯉カメラ(人の顔を鯉の画像に差し替え、SNSに写真を投稿できるサービス)
シス研賞	Sugaken2022	鯉に恋する商店街アプリ(商店街や鯉について気軽に知ることができるアプリ)
ニューコメ賞	丑之日プロジェクト	試食に KOI(鯉料理を試食できるお店をリアルタイムで教えてくれるアプリ)
マイクロソフト賞	鯉っちゃん?制作委員会	鯉のテーマパーク「鯉っちゃん?」(鯉を知る、食べる、楽しむを「メタバース」上に表現)
優秀賞	鯉する FCS	鯉ログ(鯉の公式HPに遷移するボタンを設置や店舗で迷った際の補助として比較機能)
奨励賞	WIZ-A	鯉恋(鯉を食べてもらうことと、人と人が出会うことを同時に目指す)
優良賞	WIZ-B	鯉クイズ(最初に鯉の画像を表示し、次画面で3枚の画像を表示し、先程の鯉模様をあてる)



OPENFACTORY KORIYAMA 2022 報告

郡山地域の町工場が集まり、普段は見せることのできない工場を公開する「工場見学」や、各社ならではの「ものづくり体験」を提供するイベントを10月28日、29日に県内初開催しました!

(1)高校生受入編

・概要:高校生がものづくり風景を県馬券角、ランチミーティング

(2)一般公開編

・概要:①各工場:各社が工場見学及びものづくり体験

②東部体育館:動画紹介や製品展示、(FSG提供の)バッジ、キリンがちゃ等



【コラム】郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議会員企業から

当社は、もともと鉄鋼業として昭和41年に創業したものの、福島県階に型枠製造を主たる事業とする企業がなく、東北・北海道で1番になる!業界において頼れる企業でありたいとの考えのもと、北の空に光り輝く北極星・北斗七星の不動の星にちなんで『北斗』型枠製作所と名づけられました。私は入社前は、別会社で、製造や設計、段取り、営業などの経験を積み、23才で入社しました。

当社の主な製品は、下水溝などのコンクリート製品を作る型枠であり、既製品も多くある中で、サイズや規格、デザインリメイクなど、お客様の要望にオーダーメイドで対応できる点が強みだと思っています。

また働きやすい会社づくりの一環として、業務の見える化や改善を行う環境整備委員会、安全報告やヒヤリハットを検証する安全委員会を定期的で開催するほか、デジタル技術の積極的な導入により、ペーパーレス、残業時間の削減等にも努めています。

自社工場を第三者にみていただくことは、最大のセールス効果だと思います。整理整頓や挨拶、生産計画見える化など、社員自身が共通認識と向上心を持つことが、受注増や信頼獲得につながります。現在、西日本にも営業拠点を有しておりますが、いずれは型枠業界で国内No1の企業になりたいと思っています。多くの方との出会いや経験、交流を通して、当社はここまで発展することができました。今後は他の企業とも支援しながら、福島県を代表する企業の1社になりたいですね。



郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議
遠藤 正成
(株式会社北斗型枠製作所 代表取締役)

